

立教大学学術推進特別重点資金(立教SFR)  
 在外研究  
 2010年度研究成果報告書

研究代表者	所属・職名		氏名	
	社会学部 / 社会学研究科・教授		水上徹男 印	
研究課題	トランスナショナル・マイグランドに関する社会学的研究			
研修期間	2009年 9月 1日 ~ 2010年 8月 24日 ( 358日間)			
経費	年度経費	SFR助成額	所属学部からの補助額	合計
	2009年度	1,149,220円	1,050,000円	2,199,220円
	2010年度	244,984円	1,050,000円	1,294,984円
主な滞在国 及び 研究機関名	国名	研究機関名		
	オーストラリア	モナシュ大学 (Monash University)		

研究成果の概要 (図・グラフは使用しないこと)

グローバルな人の移動がとくに注目されるようになった1980年代以降、移住によって形成されたエスニック・コミュニティも多様化して、調査のフレームや概念も新たな展開をみるようになった。移住やエスニック・コミュニティの内実を描写するにあたり、1990年代以降は、特定の国家から移住して出身国を含む複数の国家に同時に社会参加するトランスナショナル・マイグランドの概念が適用される機会が増えている。このような動向を踏まえて、本研究では、主にオーストラリアにおけるエスニック・コミュニティの変容を取り上げた。

今回滞在したメルボルンは第二次世界大戦後20年間の人口増加のうち、海外からの移住者が約6割を占めるほど、オーストラリアのなかでも際立って多様な出身国を背景とする移住者が混在する都市である。このような社会事情と今日の移住者の動向および人口構成などについては、“The Growth of Suburban Ethnic Diversity in Post-War Australia.” (2010年3月、様式2に記載)にまとめた。また、日本を出身国とする者の都市別の特徴などは、オーストラリアの国勢調査や日本政府の資料などを解析して、Japanese Studies Centre (Melbourne)のシンポジウムにおいて発表した(2010年3月13日、様式2参照)。2011度の著書の刊行に向けて、現在加筆修正をしている。この際にアメリカ合衆国や西ヨーロッパ、アジアの一部の都市と比較したデータを提示したが、日本からオーストラリアへの移住者は女性の人口比が高く、教育機関などに訪れるケースが多い。

**研究成果の概要** (つづき)

メルボルンでのデータ収集やフィールドワークが中心課題であったが、国際的な人の移動に関係した研究として、日本国内やシンガポールで行った調査もまとめることができた。在外研究の直前までインタビュー調査などを実施していた池袋地区のデータを整理して、Japanese Studies Centre (Melbourne)において講演した(2009年10月、様式2参照)。日本国内の多文化社会が進行する状況や外国人居住者への支援にかんする論文を *Civic Engagement in Contemporary Japan* の本の一章として発表した(2010年4月、様式2参照)。

また、シンガポール国立大学において、日本からシンガポールへの人の移動の特徴にかんする内容の講演を行った(2010年1月13日、様式2参照)。オーストラリアの大都市では、日本からの永住者が増加しているのに対して、シンガポールでは圧倒的に企業の駐在などのエクスパトリエイト・タイプが多い。これまでのトランスナショナル・マイグ란ツの研究においては、マイグ란ツ・ワーカーのようなタイプが主な調査対象になっていたが、本研究成果をもとにエクスパトリエイトなどを含めた多様なタイプを対象としたフレームの構築を試みている。

**キーワード** (研究内容を適確に表しているものを5項目で記入)

[トランスナショナリズム] [エスニック・コミュニティ] [国際的な人の移動]  
[ソジョナー] [ ]

**研究発表** (研究によって得られた研究経過・成果を発表した①～④について、該当するものを記入してください。該当するものが多い場合は主要なものを抜粋してください。)

- ①雑誌論文(著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ)
- ②図書(著者名、出版社、書名、発行年、総ページ数)
- ③シンポジウム・公開講演会等の開催(会名、開催日、開催場所)
- ④その他(学会発表、研究報告書の印刷等)

- ① Tetsuo Mizukami, "The Growth of Suburban Ethnic Diversity in Post-War Australia." 『グローバル都市研究』 No.3, 2010年3月, pp.17-26.
- ② Tetsuo Mizukami, "A New Epoch of Immigration for Japan: Directional Shift in Civic Organizational Support for Newcomer Settlement." pp.101-116. New York: Springer, In H.Vinken, Y.Nishimura, B.White, and M.Deguchi (Eds.) *Civic Engagement in Contemporary Japan: Established and Emerging Repertoires*, 2010 (April) 300pages.
- ③ Seminar on 23rd October 2009, "The Debate about Ethnically-Oriented Social Changes in the Central Tokyo with Particular Focus upon the Ikebukuro District." at Japanese Studies Centre, Melbourne.  
  
Seminar on 13th January 2010, "The Singaporean Characteristics of a Japanese Community in Global-City State." at Faculty of Arts and Social Sciences, National University of Singapore.  
  
Symposium on 13th March 2010, *Japanese Communities in Transition: Australia 2010*. Paper presentation by Tetsuo Mizukami, "The Japanese Population in Australia's Major Cities." at Japanese Studies Centre, Melbourne.  
  
公開講演『移住の社会学』ホープコネクション主催、2010年6月26日、Grattan Gardens Community Centre, Melbourne.

※この(様式2)に記入の、成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書(A4縦型横書き1枚・自由様式)を添付すること。